

再処理企業協議会

かわら版 さいくる

2014年12月 第11号



構内作業に従事されている皆さまへ、あなたも「再処理企業協議会」の会員です！

今月の担当者



渡部



渋谷

2014年(平成26年)11月28日発行
再処理企業協議会 広報部会
〒039-3212
青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字弥栄平1-5
再処理企業センターB棟
TEL (0175)71-2487 FAX (0175)71-2488



再処理企業協議会

短い秋も過ぎ、厳しい寒さがやってきます。パワフルに乗り切りましょう！

「再処理企業協議会各社対抗ポリング大会」

10月25日(土)三沢ボウルにて会員24社・96名による第2回ポリング大会が開催されました。開催に先立ち、栃木専務理事より挨拶が行われ、各社を代表して三菱重工業(株)の石崎さんによる始球式で熱戦が開始されました。



ゲーム終了後、レーン前での表彰式、会食場所での親睦会が開催され、和気藹々の雰囲気の中、会員各社の親睦を深めることができました。来年再来年とより多くの皆さんの参加で盛り上げたいと思います。参加された皆様、お疲れさまでした。



- 【団体戦】 優勝：昔取った杵柄三人(株)青森クリエイト
準優勝：カンデンコーズ (株)関電工
第3位：JPA B・C (青森日揮プラントック(株))
- 【個人戦】 優勝：黒川 寿さん (株)青森クリエイト
準優勝：西ノ明 光さん (株)木内計測
第3位：市川 友博さん (株)ジェイテック



「日本原燃(株)主催スポーツ大会」

10月19日(土)秋晴れ恒例の日本原燃(株)主催のスポーツ大会が、構内体育館及び周辺で盛大に開催されました。競技終了後、懇親会も開催され、参加者全員楽しいひとときを過ごしました。

競技結果は以下の通りです。

- 【綱引き】 優勝：ジェイテックA
【玉入れ】 第1グループ：東芝A
第2グループ：日本原燃C
第3グループ：東芝B
第4グループ：東京エネシス
第5グループ：三菱重工業B
【駅伝】 優勝：日本原燃B



関係者の皆様、お疲れさまでした。

見学会 勉強会

- ・09月30日 第10回勉強会(労働者派遣法に関する勉強会)
青森労働局、葛西春季世・澤田晃式両氏より、来年4月に施行予定の改正案について改正点等の説明がありました。
- ・10月15日 第2回 六ヶ所村次世代エネルギーパーク見学会
9月18日に実施された第1回見学会に引き続き、第2回の見学会が実施されました。見学施設は次の通りです。
①国際核融合エネルギー研究センター ②環境科学技術研究所(先端分子生物学研究センター)
- ・10月22日 第11回勉強会(「再処理プロセス教育 脱硝施設」)
日本原燃(株)脱硝課 三浦進課課長より、「ウラン脱硝設備」「ウラン・プルトニウム混合脱硝設備」と製品貯蔵設備の再処理工場内での位置付けと概要が説明され、大変有意義な勉強会となりました。
- ・10月29日 第3回 現場指揮者教育 講師：六ヶ所再処理メンテナンス(株) 大久保敏氏/青森日揮プラントック(株) 久慈光治氏
- ・11月18日 第12回勉強会(冬道の安全運転)
尾駁交番澁谷巡査部長よりDVDによる冬道の安全運転について講演がありました。六ヶ所村では夜間に歩行者の死亡事故が3件発生している。夜間は歩行者に注意を払うこと。また、道路端に人が寝ているかも知れないということを確認しておくこと。冬道運転ではスリップ事故が7割を占めている。速度は控えめに、急ハンドル・急加速・急ブレーキをさけて安全運転に努める等の話がありました。

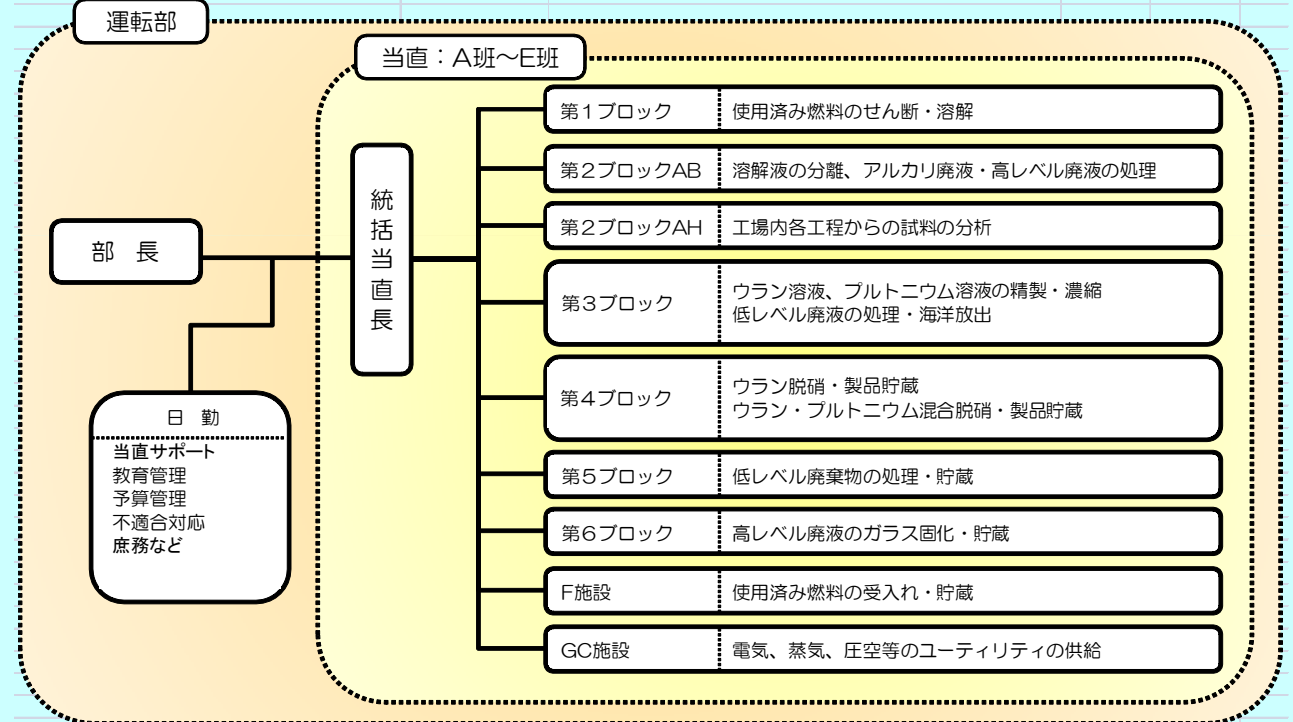
ミニ工場紹介 運転部

再処理企業協議会の皆様、運転部長の吉澤です。

運転部では統括当直長の下、再処理工場の各施設を9つのブロックで分担し、一部の施設においては運転委託により3交代で運転操作、保安管理等を行っています。運転操作にあたっては、ヒューマンエラー防止のため、操作内容全体を理解した上で基本動作を確実にを行うとともに、設備点検においては、事前に隔離対象、隔離箇所を図書類に基づいて確認し、保守部門との連絡を密にしてトラブルの未然防止に努めています。

現在は、新規基準で求められている重大事故時の対応訓練に取り組むとともに、操業を見据えた運転員の教育・訓練を計画的に進めています。

再処理工場の主要工程は、長期にわたって停止していますが、操業開始時には、企業協議会の皆様のご協力を得て設備を万全な状態に維持し、教育・訓練の成果を発揮して安全・安定操業を目指していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。



お知らせ

- 1月8日 餅つき大会
- 1月 「再処理プロセス教育」 ガラス固化施設の概要



【編集後記】

ほんの？十年前、学生時代に友人と大阪から大間岬を目指して旅をしたことがありました。今は無き「寝台特急日本海」に乗り、青森駅で東北本線に、野辺地駅で大湊線に乗り換え、これも今は無い大畑線「大畑駅」でバスに乗り換えての行程でした。苦労して辿り着いた大間は感動でした。ところが帰路、下北駅まで戻ったところで列車がなくなり、我々は青森駅まで戻らなくなりました。若気の至りといいますが「野辺地まで行ったら何とかなる。40kmほど(実際は60kmでした)だから歩くか!」ということで人っ子一人歩いていない闇の中、たまに通る車もあつという間に通り過ぎ、真っ暗なR279を夜通し歩きました。頑張って歩いたつもりでしたが、いつの間にか道路脇のベンチに崩れ落ちていたようです。夜が明けるとそこは「陸奥横浜駅」近くのバス停のベンチでした。それでも約30km歩いた訳ですが目的地までの半分に過ぎません。「陸奥横浜駅」から始発列車で青森駅に戻ったというお粗末なお話です。思い出のバス停は探しましたが見つかりません、もう無いのかも??。元々ご縁があったのか、この時ご縁を作ったのか、その後？十年たった現在こうしてこの地で勤務しています。